

令和5年美濃加茂市教育委員会 2月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

令和5年2月22日（水）午後3時00分から午後4時30分まで
美濃加茂市生涯学習センター4階 402会議室

2 出席者

（教育委員）

教育長 古川 一男
委員 鹿野 久美子
委員 矢島 良子
委員 高野 光泰
委員 渡邊 博栄
委員 武田 由美

（事務局）

事務局長 山田 智也
学校教育課長 渡辺 出
教育センター次長 佐藤 明弘
教育総務課課長補佐 鷺見 省吾

3 欠席者

なし

4 開会 午後3時00分

5 議事日程等

（1）教育長あいさつ

（2）会議録署名委員の指名

（3）会議録の承認について

① 1月定例会会議録

（4）議事

○ 議第1号 令和5年度美濃加茂市一般会計予算（教育委員会所管分）に関する教育委員会の意見について

○ 議第2号 令和5年度学校教育の方針と重点について

（5）協議・報告事項

① 教育委員会行事予定等

② 教育センター事業報告

③ 美濃加茂市教育委員会の委員の任命に係る議会の同意について

④ 美濃加茂市・富加町中学校組合教育委員会の委員の任命に係る議会の同意について

（6）その他

会 議 録

(1) 教育長あいさつ

古川教育長

※教育長から開会のあいさつ

- ・総合教育会議に引き続き、よろしく申し上げます。
- ・2月2日に県の教育長会が開催されました。各市町村から色々な意見がでましたが、共通して出てきたのは大きく4点でした。
- ・1つ目は、教育不足です。来年度に向けた調整が悩ましい現状です。子ども達に対してきめ細かい指導をしていきたいという願いの中、35人学級による増級、特別支援学級・通級指導教室の開設数の増、国際教室を増やしていかないといけない状況にあって、排出する教員数が不十分だという状況です。
- ・2つ目は、教員の質の向上です。校内研修の充実を図るために、全ての小中学校に研修主事を置きます。校内研修をコーディネートする人を位置付けて、内部研修の体制を整えていこうという動きです。具体的には年間30時間の研修を進めていきます。学校には負担がかかってくるのが悩ましいです。
- ・3つ目は、部活動の地域移行です。来年度から3年間の見通しで順次出来る所から土曜日・日曜日の部活を移行していく体制で今進めています。最初「3年間で移行していきなさい」って言っていた国がここに来て「3年間じゃなくてもいいよ」って言っているんです。全国的にそう簡単には出来ない実情が背景にあります。今地域指導者への説明会を終えました。子どもの大事な指導にあたってもらう事ですので、そうした研修をしっかり受けてもらった人に入ってもらうために、今そういう研修を順次進めているような状況です。
- ・4つ目は、不登校への対応です。今学校へ行きたくても行けない子へ、どういうふうに対応していったらいいかっていうところに随分意識が向かっています。子ども達の受け皿っていうのをどういうふうにしていくかっていうところ。今日も岐阜の草潤中学校の事を中日新聞が話題に取り上げています。
- ・年度末に入りまして特に中学校の3年生においては公立高校の入試に向かっていきます。卒業式も本当に目の前に来ています。高校入試が3月3日。1次の変更の締め切りが今日の正午だったので、明日新聞に最終の希望数が出るんじゃないかなと。高校が入学願書をオンラインでやるっていう動きが本年度から一部入ってきました。中学校ももちろんですが、高校側からすると紙とオンラインと混じってくるので、今まで以上に神経をすり減らしています。間違いがあっては許されないのです。コロナ対応としてコロナに感染した場合の再受験の体制もとっていくっていうような事で色々神経を使って進めているような状況があります。
- ・振り返ってみると本年度も引き続きコロナ感染症の感染の拡大っていう山が繰り返してきて、ここへ来てやや落ち着いて感染数も減っ

てきているような状況です。2月5日に県の医療ひっ迫防止対策強化宣言が終了され、5月8日からはコロナも季節性のインフルエンザレベルの5類に移行というような方向も出てきています。学校現場で言いますと卒業式目の前にきています。色々国からも県からも通知が出たところですけども子ども子ども達の大事な学校生活の締めくくりの場でもあります。マスクの取り扱いについても国や県の通知を受けて美濃加茂市としても対応していこうと各学校と共通理解を進めたところです。

・卒業式は中学校が3月7日(火)、小学校が3月23日(木)です。本年度はなんとか告辞もやっていきます。また教育委員の皆さま方にもお願いをいたしますけどもよろしくお願ひいたします。

(2) 会議録署名委員の指名

古川教育長

会議録署名委員の指名を行います。美濃加茂市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和5年1月定例会会議録の署名者は武田委員にお願いいたします。

武田委員

はい。

(3) 会議録の承認について

① 12月定例会会議録

古川教育長

次に、会議録の承認についてです。12月定例会会議録を事前にお送りしておりますが、訂正等はよろしいでしょうか。

特にないようですのでご承認いただいたという事でお願ひします。

(5) 議事

議第1号 令和5年度美濃加茂市一般会計予算(教育委員会所管分)に関する教育委員会の意見について

古川教育長

では初めに「令和5年度美濃加茂市一般会計予算(教育委員会所管分)に関する教育委員会の意見について」をお願いいたします。

山田事務局長

※資料を基に、令和5年度美濃加茂市一般会計予算(教育委員会所管分)について説明。

・教育総務課は40事業あり、半数近くが学校配当予算となります。小学校の管理費と教育振興費について、生徒数等により配分しています。

・小学校運営事業：学校配当予算以外の契約等の大きな事務を行う経費です。光熱水費のうち電気料金が大幅に増額となっています。中学

校や双葉中学校組合の負担金についても同様です。委託料の増額については、公務員・給食補助員の委託業務分です。令和4年度は2学期から委託したものが令和5年度は通年で実施するものです。備品購入費の減額は、令和5年度にAEDの更新がないことによるものです。

・小学校施設営繕工事：小学校の校舎や体育館などの施設の整備工事を行う事業です。公共施設総合管理計画や学校ごとの個別施設計画による大きな改修と緊急性が高いと学校から営繕要望が出てきたもののうち、財政により査定されたものが計上してあります。令和5年度で一番大きなものは山手小の体育館の大規模改修工事です。そのほかに太田小の防犯カメラ設置工事、山之上小体育館の照明のLED化等の非構造部材に関する工事があります。令和6年度に実施する太田小の校舎と体育館の改修にかかる設計も行います。財源については、公共施設等適正管理推進事業債という起債（借金）を充当して費用の削減を図っています。

・小学校教師用指導書等購入事業：4年に一度の教科書の改訂に伴って教師の使用する教科書や指導書を購入します。令和6年度から使用するものを令和5年度中に購入するものです。教科書の選定等は行われていませんので、国から示されたリストや4年前の実績を加味し、学級数や教師数によって算出しています。中学校については令和7年度に改訂が行われますので、令和6年度の予算で対応いたします。

・水泳授業民間委託事業：令和4年度はプールが全くできない山之上小と伊深小のみ形状していましたが、コロナの影響で授業は中止となりました。令和5年度は、太田小・山之上小・蜂屋小・伊深小・山手小の5校を市内や近郊の民間水泳施設に依頼して授業を行おうと考えています。西中学校はキャパシティの問題で1学年のみとなります。

・学校給食センター事務事業：学校給食の公会計を実施するために、給食費の徴収管理システム開発費が計上されています。

・給食材料費：令和4年度9月議会で補正対応したように、物価高騰に対応し、国の交付金を財源としながら給食材料費を上積みしました。給食費の値上げについては、会情勢・物価高騰・電気料の高騰など家庭に負担がかかっている中ではすぐわないという観点から据え置きをさせていただきました。その不足分については、富加町と協議の上で市費又は町費という事で財源を補充しています。

古川教育長

それでは一度ここで切ります。質問等ありましたらお願いします。

鹿野委員

事業実績が右下に書いてありますが、その目標値が色々あるんですね。100%ではなく、30とか13とかあるじゃないですか。100%に目指しているとかそういう意味ではないんですね。

山田事務局長	活動指標は事業によって異なります。教育委員会の運営事業の活動指標では、どれだけその事業で動くかということになりますので、予定しています定例会と臨時会を確実にを行いますよという事で指標としています。
鹿野委員	では39ページ（学校給食センター維持管理事業）の200というのは。
山田事務局長	これは給食の実施日数の実績が192というのは令和3年度に給食を作った日数です。目標値といっても給食が必要な日をそのままとしています。当然給食作るべきは絶対に作らなくてはいけないので。令和4年度以降カレンダーの影響等で変わってきますので200ろ入っていますけども、実際には令和4年度は202が目標値になりますし、令和5年度は204が目標値になります。
鹿野委員	ありがとうございました。もう1ついいですか。33ページ（小学校教師指導書等購入事業）ですけども、教師用教科書と指導書の件ですがこれは紙の物についてですね。
山田事務局長	その他教材というもので、例えばDVDであったりそういう物も含まれています。基本的には生徒と同じ教科書とその内容を解説するための指導書が紙ベースになります。
鹿野委員	タブレットで使うものは別のところからお金が出ると。
山田事務局長	そのとおりです。
鹿野委員	すいません。もう1つ。最初の1ページ（事務局運営事業（教育総務課））ですけども各経費の積算根拠のところに「ス」ってあるのはスポーツの「ス」ですか。
山田事務局長	スペースの問題で省略しまして、スポーツ振興センターです。
渡邊委員	電気代がやはりすごく増えていますね。
山田事務局長	私ども小中学校と給食センターとのぞみ教室も含めて電気料金かかってくるところです。今現在市全体として中部電力パワーグリッドの最終保障と言われる、要は電力のセーフティネットと言われているもので、通常の所と契約出来ない場合に市場価格より2割ほど高いですけどもそちらを使って下さいという制度があるんです。それの方が切り替えた段階では市場の急騰に追いついてなかったのでもそちらの方が安かったのでも、1年間限定ですけど、使わせていただいています。給食センター、学校、市の庁舎っていうのも全部同様です。4月からは中部電力ミライズの方が本当にわずかな枠で

新規を受け付けるという話が出ましたので、総務課の方で実質そちらの方で申し込みを今完了したところです。そちらの方で来年度は電力を賄っていくこととなりますが、それでも今燃料調達費であったりとか市場価格調整費というものが色々と動いておりまして、なかなか今おおよそどこも2倍近い数字が計上されているんですけども、これで来年度賄いきれるかっていうところは不透明な状況です。ただ原油価格が落ち着いてきて逆に下落が始まったら大幅に余る可能性もあるんですけども。昔からちょっと前から比較しても今の電力の状況は異常な状態というのは電力会社も言っておりますので。ただそれが下落するも見込みというのは全く分からない。上がる可能性もあるし、下がる可能性もゼロではないというのが電力会社の見解です。

鹿野委員

「将来的には学校も自前で」という話はちらつとは出ますか。自前というかソーラーを使ってね。

山田事務局長

一部の学校は太陽光発電を設置しています。給食センターも設置していますが、それほど大きな電力を賄なえている状況ではありませんし、電力に変換する機械が壊れるとその改修をすると元を取る為に10年20年かかる。そんな状況です。一方では脱酸素社会の動きで公共施設に発電施設の設置を推進しなさいというのが目標として掲げられていますので、そういった中に教育委員会としても学校施設で可能なところについては設置していきたいなと思っています。

渡邊委員

LED化は大体終わっているんですね。

山田事務局長

そうですね。体育館につきましては非構造部材の補強工事。この一環の中で照明をどうしても替えなくてはいけないので、そこでみんなLEDにかえております。今はもう水銀灯の生産が無いらしいので順次やっているところです。

古川教育長

今の電気代のところも今後どうなっていくか分からない。誰も見通しがつかないんですけども。これでまた右肩上がりになっていくとすると、夏暑い時にエアコン使うなって事もなかなか言えない。予算が不足した場合は対応としてはどういうふうに考えていますか。

山田事務局長

財政の方とは事前にそういった事も想定しながらずっと話をしています。どれぐらいのびるかっていうところなんですけども、不足する場合には12月の議会で補正を行おうという事は財政も視野に入れております。令和5年度の12月です。今例年の2倍ぐらいの予算がついている中で少なくとも9月の4分の3ぐらいまで

はいけないかなという憶算の中です。電力の消化状況を見ながらと当然言われていますので。場合によってはもの凄く上がってしまって明らかに足りない状況でしたら9月議会で補正をお願いすることも。9月議会で補正をお願いするという事は7月の時点でそういう判断をするという話になってきますので、そういった事を財政と協議しながら予算の確保をしていきます。学校現場もそうですし給食センターも暑い中で調理をして頂いて倒れてもらうわけにはいかないので電力料金の確保というのはしっかりやっていきたいなと思っています。

古川教育長

同じような視点で、給食の具材も上がってきて、今それを見越して予算を立てているのも分かるんですけど、今年は国の補助があったんですけども。美濃加茂の給食は誇れる給食を出しているんだなという自負はもっているんですけども、こうした食材費の高騰というのがあった場合の対応は何か考えていますか。

山田事務局長

こちらの方については、今年度9月に2800万補正予算を計上しておきながら来年度2000万に絞ったというのは、実は予算の査定段階、10月11月なんですけども、その時点での執行見込みになります。今年2800万追加で、国の新型コロナウイルス対応調整臨時交付金を財源として2800万組んだ中で執行見込みが大体2000万前後ぐらいという話になってきたんです。2800万はちょっと使い過ぎじゃないかなというのが正直なところだったんですが、そこから先また油とかの価格が上がって来まして、今年の2800万つけたうち執行見込みが2200万から2300万ぐらいなのではないかというふうに感じております。2000万で足りるのかっていう話なんですけども、ここはやってみなければ分からないっていうところと、もし元々そうであれば最初からある程度計画して調整できるよねって事は給食センターの栄養教諭と話をしておりましたので、この先の高騰があまりにも上がるようでしたらこの予算の追加という事と、あと令和5年度については先程の国の交付金のような財政的な措置の話はまだ出ておりませんが、昨年もそうでしたけども突然出てくるものですので、もし使えるよって事がありましたら財源更生という形で国の交付金を充当するタイミングで、例えば予算の追加をしたりとかそういった事をしっかり考えていきたいなと思っています。

古川教育長

他に質問等ありましたらお願いします。

(委員：意見等なし)

それでは教育総務課の方はこれで終わります、続けて学校教育課の方をお願いします。

※資料を基に、令和5年度美濃加茂市一般会計予算（教育委員会所管分）について説明。

・いじめ対策事業：昨年度よりも予算の増額をしています。定例のいじめ防止対策審議会は、年に2回委員さんに集まっていただいて、1年間の様子そして来年の方針等についてのご提案頂くような対応をしております。これとは別に現在いじめの対策審議会の調査委員会が、重大事態に関わるものではないかという案件につきましての調査をしています。この中には外部の方として弁護士の方、臨床心理士の方にも入っていただいて調査委員会をしておりますので、この委員会に関わります費用を計上したという事で増えています。これにつきまして、1回分しか計上していないんですが、もしほかにも申し立てがあった場合につきましては、ここで補正を組んで対応していきます。

・学校運営協議会事業：本年度この3学期に西中と東中で学校運営協議会の第1回目の会議を開きました。これで市内の小中学校、双葉中学校も合わせて全部の学校に学校運営協議会が設立された事になります。これに伴いまして、次年度も委員さんを任命させていただき、会を行うという事で予算を計上しました。最大15名の委員さんになりますが、学校によっては7名・5名というところもありますので、今後委員の任命をする中で最大15名の予算を計上したという事です。またこの学校運営協議会の中身がなかなか浸透しないと、なかなか分かりづらいというお言葉もいただいておりますので、リーフレットを作成しまして地域の自治会の回覧、そして保護者の皆さまにもお配りさせていただくという事で予算の方を計上しました。

・道徳教育実践事業：東中学校は令和4年度・5年度ですが県の指定を受け、美濃加茂市の中学校で1校、恵那市の小学校で1校で道徳の研究をするという中心校になっていきます。これに伴いまして県の方から予算がついておりますので一旦市で受けてそれを執行するという事です。

・教育支援事業：新しい特別支援学級ですとか通級学級が出来た時に、その教室を作る為の費用を予定しています。本年度も特別支援学級の増級要望ですとか新設要望もありましたので予算の方を立てました。太田小・山之上小に特別支援学級が出来るという事になっておりましたが、今回は残念ながら特別支援の学級が設置されませんでしたので、この事については現状のところカットになっていますが、予算立ての時点ではこのように立てました。その他の備品購入費ですとか特に教育の支援に必要な子どもたちの為に使っていくというところの中身になっています。

・科学のふしぎ解決学習推進事業：去年の秋に新聞にも出たんですが、議会の方からこの事業につきましては廃止又は縮小をなさいという事でご提言をいただいた事業です。その内容としましては名古屋市の科学館等がいい体験だという事で出て行ったわけですが、

これが何ら遠足等と変わらないのではないかという事の指摘を受けました。そこでその部分を削りまして、ただし、先般お亡くなりになりました岸義人さんのような方がこの美濃加茂市からも出ているという事と、文化系のものは割と沢山あるのですがどうしてもこういう科学系のものにお金がついてなくて体験も出来ないという事ですので、少しでもという事でサイエンスワールドの皆さんにこちらに来ていただくという事とサイエンスワールドに見に行くという事でその部分を残しました。ここにもう1つやぎさんのふれあい事業が入っていたんですが、それを別の方に移しましてそのままやらせていただきたいと思います。

・豊かな体験推進事業：1つ目はプログラミング、2つ目のところにはやぎさんのふれあいの事業をこちらの方に動かしまして、生き物と触れ合うですとかプログラミングは小中学校で習ったプログラミングをさらにもっと深めたいよという子ども達の為に。これ本来学校教育課は子ども達全員の為に授業をしていくべきところですので、今後はひとつづくり課で一環していただくことになるかもしれませんが、夏休みに20名ほど募集しましてプログラミングの講座をやっていきたいという事です。やぎさんのふれあいが7校になっているんですが小学校は9校ありますが、先般三和は自分のところでやぎを飼うと言いましたし、蜂屋は近くにやぎを飼ってみえるところがあるんです。その2校は実際必要ないという事でしたので7校で計上しました。

・地域部活動推進事業：専門家への謝金2万円というのがありますが、3年後には平日の部活動、この運動自体をどうしていこうという方向性を考えていかなければいけないという事と、今回土日の部活をスライドさせる事については、やはり教育委員会のスタートが遅れた感は否めません。この3年後を見据えてこの春から専門家の方に入っていていただいて会議を重ねていって、どういうところが主となってやっていったらいいのかとか、どういう形でやっていけばいいのかというようなことを積極的に持って行って方向性をつけていきたいという事を思っています。こういった会を開く為に専門家の方に来ていただくための謝金がこれになります。西中学校・東中学校の外部指導者手当について、例えば西中だと10名×時給1600円×3時間×35週という事になっています。これは現在外部指導者として入っていただいている方が10名。そして時給1600円は地域部活動をした時に国や県が言っている最大の時給が今1600円です。ただし、中学校の教員は今900円でやっておりますので、教員は900円で地域の方は1600円という事にはならず、大体1000円から1200円ぐらいのところやっていたらこうという事にはなっていますが、予算上まず1600円で計上しました。それから3時間が土日の一部部活動です。これが3時間で年間で35週という事ですけども、こちら35週以上やる可能性もありますので先程の1600円の空いた分のところから

こちらの方に動かしていく可能性もありますが、そういったところで予算立てをしたという事です。新たな部活動が10個とか17個というわけではありませんので。これは今後学校の方でいくつの部活に外部指導者に入っていたかどうかによって決めていく事になります。

古川教育長

今学校教育課の分についてピックアップして説明をいただきました。何かご意見ご質問ありましたらお願いします。

ちょっと細かい事をいくつか聞かせてください。5ページのいじめ対策事業です。いじめ防止対策審議会の調査委員会の方で臨床心理さんの方は報償費で出ていて弁護士さんの方は委託料で予算計上がされているんですけども、これは何か理由がありますか。

渡辺課長

これは契約の問題です。弁護士さんは委託の契約でやらせていただいておりますけども、臨床心理士さんは来ていただいた時に対してのお礼を払うという事でこういう事になっております。

古川教育長

分かりました。10ページの学校運営協議会費用ですけど。この事業実績のKPIの事業実績のところですけども。KPIのところでは令和4年度学校運営協議会設置9校とあるのは、中学校が入っていない。4年度は中学校も開設したと思っております。

渡辺課長

もともと2校が先行しているのです、2校と新たに9校という事で、全体では11校です。

古川教育長

分かりました。では本年度はもう全て開設して動き始めているという事です。ありがとうございます。20ページの豊かな体験推進事業。これ新規事業というふうで話があったんですけども、これに前年度と令和3年度のところにも数字が入っているのは間違いですか。

渡辺課長

やぎさんの事業がこちらに移ってきていますので、やぎさんに関わった事業だけがここに入っているという状況です。本来ここにはなくていいです。

山田事務局長

システムのなところもあります。財政の方で前年度の実績とか引張ってくる仕組みにしまっている。こちらの認識が新規事業だったとしても令和3年度・4年度に実施しているやぎさん事業費の方を財政が紐づけしてしまっていますので。実は担当課のほうでも管理をしがたいところでして。財務会計のシステム上既存の事業を紐づけてしまっているというところです。

古川教育長

分かりました。そういう背景があるという事です。内容が紐づいている分がここに影響していると。ありがとうございます。

	<p>その他何かお気づきの点この場でお願いします。よろしいでしょうか。</p>
鹿野委員	<p>ちょっと聞いてもいいですか。生まれる赤ちゃんの目標が500人ですよね。美濃加茂市の。これを期待したいと。現状はどれぐらいでしたっけ。</p>
鷺見課長補佐	<p>450人ぐらいです。</p>
山田事務局長	<p>五百何十人という出生数があったの、が急にこの数年で一気に減ってきて450ぐらいまで落ちています。</p>
鹿野委員	<p>せめて500人はって。</p>
山田事務局長	<p>戻したいですね。</p>
古川教育長	<p>他に質問等ありましたらお願いします。 (委員：意見等なし) それでは議第1号についてはご承認いただいたということで、次へいきます。</p>

議第2号 令和5年度学校教育の方針と重点について

古川教育長	<p>では次に「令和5年度学校教育の方針と重点について」をお願いします。</p>
渡辺課長	<p>※資料を基に、令和5年度学校教育の方針と重点について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今行っていますF-0のプランⅡについてですが、現在5年計画の中の4年目。教育指導計画の5年中4年目が来年度という事です。ですので、来年度の様子をみながら次のものを策定していくという事になっております。現在のこの4年度のところを元にしながら現状に合わせたものを作っていくという作業になります。 ・市の重点施策を受けた方向性を目指す姿についてはこれまでと変わっていません。 ・重点以下のところですが、現在美濃加茂市において不登校の児童生徒数の急増が一番の課題です。これは来年度もどのようにして解消していくかというところを一番に上げていきたいと考えています。そこでまず不登校の未然防止というところを一番上にしまして、まず児童の実態の把握、そして子ども達の自己肯定感の向上、そして保護者や関係機関、スクールカウンセラーの配置を新たにここに付け加えさせて頂いて相談体制を充実させていきたいです。

・左側の学ぶ喜び。学びあう楽しさの実感できる授業作りの所ですが、現在不登校になる児童生徒の2割強が勉強が分からないというところが原因。もしくは休んでいるうちに勉強が分からなくなるという事が大きく出てきています。それからコロナ禍の中で学校の授業の形態も色々変わってきたんですが、不登校の子供たちを少しでも未然防止するために、授業の充実の2つ目の所ですが、出来る・分かる指導の徹底というのを今回は新たな言葉として入れさせていただきました。分からない中で進んでしまったり、ついつい置いてきぼりになってしまっている子どもたちを、どうにか少しでも抑えていきたい。現在国や世の中には、やはりどんどん進んだ教育をしていきたいというところが風潮としては多いですが、不登校を未然防止していくために、まずみんなに出来る・分かる喜びを味わっていただきたいというのがここに書いてある事になります。またそのこの2番目の所の一番下ですが、ここだけちょっとだけ違ったニュアンスで指導とか教科と指導の10分っていうのも新たな言葉として入れさせていただきました。これまで指導と評価っていう事を言っていたんですが、これはやってきた事を子どもたちがちゃんとわかっているかっていう評価なんです。評価と指導の10分っていうのは授業の終わりに子ども達が分かっているのかな、わからない子がいるのかなという事を見て、そして分からない子にちゃんと指導しきる10分間を取って欲しいという事です。とにかく基礎基本をしっかりやらせて出来る・分かる喜びを味わわせたいという事でこの部分を付け加えました。これを来年度市の先生方にも徹底する事によって。もちろん45分の授業で最後に10分とるってすごく理想的な話です。大概いつも休み時間まではみ出してしまうような授業が多いんですが、少しでも取って子ども達を見るという意識を持って授業をさせたいなという事を考えています。

・3番目につきましてはICT等の活用によってという事です。最後のところもアフターコロナにおける体制の構築という事で1人1人の個別最適な学びは外国語かつ教育の充実。体験活動等についても充実させていく事で不登校を減らしていきたいと考えています。右側の箱については、今回は大きな化はありませんが、現在希死念慮とかそういった事で、やはり命を大事にしましょうという事をすごく言ってきておりますので命を大切にすることを掲げていきたいなという事を思っています。そして一番下の箱がありますが、赤い矢印の右側です。大きな学校の改革改善としてはアフターコロナにおける精選と特色ある教育活動の推進という事です。今までアフターコロナでやってこなかった事について、それを全部戻すわけでもなくて全部無くすわけでもないです。いい機会ととらえて学校のスリム化に使える所は使って欲しいというのが、ここにある願いになります。こういったものを方針と重点としながら令和5年度美濃加茂市の教育を進めていきたいと思っております

古川教育長	<p>質問等ありましたらお願いします。</p> <p>いくつか変更を新たに入れ込んだものと2つ目の自己有用感の味わえる居場所作りの所は、内容は大きな変更はないけども順序を変えたということ。</p>
鹿野委員	<p>これはどこに配る。どこが所有しますか。</p>
渡辺課長	<p>これはまず学校教諭が基本的に全員貰いまして、指導としては週案まで入ります。教育計画を作る週案という一週間の計画がありますが、あそこでちゃんと貼って毎回見返すようにという事で。これと学校教育目標と2つ並べておくようにという指導をして目にするようにとしています。もちろん学校教育計画ですとかそういったものとかは、この市の方針を元に作りなさいという事です。あくまでも来年市はこうやってやっていきますよという事で市立学校はこれをもとに考えなさいと指示をいれます。</p>
古川教育長	<p>不易流行じゃないですけども、大事なところはきちっと残す。新たに大事にしないといけないところは加えてきたっていう事で内容的に増えてきているところはあるかなと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>(委員：意見等なし)</p> <p>それでは議第2号についてはご承認いただいたということで、次へいきます。</p>

(4) 協議・報告事項

① 教育委員会行事予定等について

古川教育長	<p>協議・報告事項に移ります。まず「教育委員会行事予定等について」をお願いします。</p>
渡辺学校教育課長	<p>※資料を基に、教育委員会行事予定等について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月の予定は、説明したものから変更なしです。 ・3/6 午後3時から臨時教育委員会、3/7 中学校の卒業式、3/22 小学校となっています。
古川教育長	<p>質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(委員：意見等なし)</p> <p>では次へいきます。</p>

② 教育センター事業報告について

古川教育長

では次に「教育センター事業報告」をお願いします。

佐藤センター次長

※資料を基に、教育センター事業報告について説明。

・1月定例教育委員会で報告したものと重複する部分について、省略します。

・不登校対策については、美濃加茂市の小中学校については最重要課題になっております。現在教育センターの配置カウンセラーという事で月曜日と水曜日、3時間ずつ教育センターに配置してありますが、なんとかその人を学校の方に派遣できないかと。それこそ学校から要望にもスクールカウンセラーの配置要望がきております。現在実は双葉中学校は毎週水曜日にご依頼をいただいて、今日も行っていきます。そういった事業をきちっと学校に周知して有効に活用していきたいと思っています。

・生徒指導関連事業についてはいじめの未然防止、早期発見、早期対応。それをいかに対応していくかこういったあたりをポイントとしています。

・発達相談、特別支援事業につきましては、特に教育センターとして感じているのは、相談事業を充実するとともに、やはり大切なのは、そういった子どもや保護者に関わっていく教職員の資質向上をいかに図っていくかという事が大きなポイントかなと思っています。

・そういった事を、アンケート結果であるとか、2月15日に開催した教育センター運営委員会で運営委員のみなさんやアドバイザーの方にいただいたご指導をもとに策定していきたいと思っています。

古川教育長

ありがとうございました。教育センターから事業報告をしてもらいました。この報告について何か質問等ございませんか。

(委員：意見等なし)

では次へいきます。

③ 美濃加茂市教育委員会の委員の任命に係る議会の同意について

古川教育長

では次に「美濃加茂市教育委員会の委員の任命に係る議会の同意について」をお願いします。

山田事務局長

矢島委員の後任の安藤摩里様の教育委員の任命につきましては、本日の令和5年第1回定例会におきまして、承認されましたので報告いたします。提案の際の市長からの紹介について、代読いたします。

安藤摩里様は、昭和62年に子ども向けの英会話教室を展開する民間会社に入社したのち、平成23年には一般社団法人日本少子化対策ネットワークを設立。代表理事に就任し現在に至っております。

す。その後平成28年度からは岐阜県の清流の国岐阜女性の活躍推進計画検討委員をはじめ、平成31年度からは美濃加茂市女性活躍支援センターリオラのアドバイザー。今年度からは美濃加茂市文化財保存活用地域計画協議会の委員をお勤めなど女性活躍支援から文化振興を始めとして幅広い分野で活躍してみえます。

古川教育長

ありがとうございました。ただいま報告をしてもらいました。この報告について何か質問等ございませんか。

(委員：意見等なし)

では次へいきます。

④ 美濃加茂市・富加町中学校組合教育委員会の委員の任命に係る議会の同意について

古川教育長

では次に「美濃加茂市・富加町中学校組合教育委員会の委員の任命に係る議会の同意について」をお願いします。

山田事務局長

矢島委員の後任の武田委員の任命につきましては、2月20日に開催されました美濃加茂市・富加町中学校組合議会におきまして、承認されましたので報告いたします。武田委員の任期は4月1日からとなりますので、よろしく願いいたします。

鹿野委員

私の教育長職務代理については、今年度で終わるということでしょうか。

山田事務局長

伺っております。またご相談を皆さんとさせていただこうと思っています。

古川教育長

それではよろしいでしょうか。

(委員：意見等なし)

以上で協議報告事項は終わらせていただきます。

(5) その他

古川教育長

その他ですが、案件はありますか。

渡辺課長

あじさい賞についてです。日本ど真ん中祭りで同じチームで賞を取った子をあじさい賞の対象としていましたが、その他の学校にもこの団体に所属しているお子さんがいたという事です。学校から報告のあった子達はもらう、学校から報告がなかったためにその子たちがもらえないというのは、この賞のあり方としてもどうだという事でこの子達全員を団体賞としてみんなにお渡ししたいという事にさせていただ

きたいと思います。形式的に前回提案させていただいたものについてはこちらでいったん下げさせていただいて、新たに団体賞としてお願いしたいと思ひまして、ご同意いただければと思ひますがよろしく願ひします。

古川教育長

よろしかったでしょうか。前回の教育委員会で紹介をした内容ですが、趣旨をご理解いただければと。

渡辺課長

※資料を基に、F-0補助金について説明。
・1,040万円の予算を、6割を児童生徒数割、4割を各学校のプレゼンによる評価割で配当します。
・評価割については、評価を点数化したものを用い、平均点を上回った学校には配当額を多くします。
・計算の結果配当額が要求額を上回った学校については、要求額を満額として配当します。
・公表会を行う蜂屋・三和・下米田・山手・西中・東中については、10万円をプラスしています。

古川教育長

皆さんにご協力頂いて査定を頂きました。それを基本にして計算をしていただいて査定をしたと。それぞれの各学校についての査定というのは。

渡辺課長

各事業ですごく点数がついているのと大変厳しい点数がついているところがありますので、この額の中でそこにつけている学校に割り振る事になりますので。そこはこちらでやらせていただきます。
昨年度は絵本がついていたので、ここから35万別に山手にはついていたんですが、今年は絵本を作らないのでその分はないです。

古川教育長

その他はありますか。
では、次回の教育委員会の日程の確認をお願いします。

山田事務局長

※3月臨時会・3月定例会の日程調整について説明
(委員日程調整)
・3月臨時会は、3月6日(月)15時00分から、会場は生涯学習センター402会議室。
・3月定例会は、3月22日(水)15時00分から、会場は後日連絡。

古川教育長

その他よろしいですか。
それでは以上で令和5年2月定例会を閉会いたします。皆さんありがとうございました。

閉会 午後4時30分